



上野学園中学校

国語

平成 25 年度

中学校入学試験 A

2月1日午前実施

受験上の注意

1. 問題は□から□まで全部で 6 ページあります。
2. 試験時間は 50 分です。
3. テスト開始の合図があるまで、問題用紙の表紙を上にして、静かに待っていてください。
4. 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。
5. 開始の合図があったら、最初に問題用紙・解答用紙のそれぞれに、受験番号・氏名を記入してください。
6. 問題用紙・解答用紙のことで質問があれば、手をあげて係の先生に聞いてください。

受 験 番 号	氏 名

UENO GAKUEN

一 次の各問題に答えなさい。

問一 次の①～⑩の各問いの——線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① カテイ菜園。
- ② 散歩のシュウカン。
- ③ ホウフな資源。
- ④ 六時にキシヨウする。
- ⑤ コウセイな裁判。さいばん
- ⑥ セイミツ検査を受ける。
- ⑦ サイシンの技術。
- ⑧ オーケストラの定期コウエン。
- ⑨ 卒業生のシンロ。
- ⑩ それイガイ方法がない。

問二 次の慣用語①～⑤の□に下の意味と合うように、語群から選んで言葉を入れなさい。

- ① □が高い……得意である。
- ② □が鳴る……才能や実力を示したくうずうずする。
- ③ □を割る……本心をうちあける。
- ④ □が下がる……感心させられる。
- ⑤ □を並べる……対等の地位に立つ。

語群 (へ 足 腹 肩かた 手 鼻 腰こし 頭 腕うで)

問三 次の①～⑤の□に漢字一字を入れ、対義語(反対語)を完成させなさい。

- 1 離陸↑□陸
- 2 過去↓□来
- 3 縦断↑□断
- 4 受信↑□信
- 5 直線↑□線

-1-

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

二か月ほど、モンゴルの草原で遊牧民の少年と馬を題材にした映画の撮影をしていた。^A見渡すかぎり大草原の、全く何もないところで長期キャンプをしていたので、毎日、地平線ばかり眺めていた。^Bもつとも、モンゴル人にきくと「地平線」ではなくて、それに該当する言葉は「天境線」であるという。^C大地よりも天のほうが主役の世界。日本とはかくもスケールが違うのだ。

地平線と簡単にいうが、日本で地平線を見たことがあったらうかと、^A考えた。東京で生まれ関東で育ったから、日本でいちばん広い平野にいたのだが、^Bついぞ地平線を見た記憶はない。晴れた日に都心の高層ビルから辺りをひと回り見渡すと、関東平野など、すぐ向こうに山々、そして眼前に東京湾の海だ。どこへ行ったって、地平線など見ることができない。

しかし、モンゴルの天境線に対応するでっかいスケールの「水平線」が日本にはあったのだ、とそのとき気がついた。そうなのだ。日本は島国、海に囲まれた国だから、モンゴルに負けない大きな視野の世界を我々だってもっているんだぞ——と。

ところで、その水平線を、我々は日ごろ、どのくらい意識してきちんと見ているのだろうか……。¹そのことがまた疑問になった。小学生のとき、千葉の幕張に越したので、夏休みなどは毎日のように海に行った。そうして、東京湾の水平線を、²そのころはよく見ていた記憶がある。

あの向こうに、きっとアメリカ大陸があるんだな。ようし、大人になったら、きっとアメリカに行くんだ、世界中に行くんだと、少年シナマコはその当時、まあそれなりの「大志」をもって海の向こうを眺めていたのである。

昔から、海べりに住んでいた日本人は、どっちにしてもみんな、ごくごく日常的に海の向こう、水平線のかなたを見ていたように思う。同じように、山のふもとに住む人々は山の向こうを。川のをばの人々は川の流れてくる上の方を、そして流れ去って行く先を——。

ところが、近ごろの日本人は、どうもかつてほど海、山、川の向こうを見ていないような気がする。僕も今は、東京湾の向こうをあまり積極的に見ようとはしていない。それには理由がある。見てもつまらないのだ。見ても夢がない。どこもかしこも、人の手、工事の手が入ってコンクリートで固められ、無

用の消波ブロックで埋め尽くされている。そんな、生物の気配も希薄で、風の臭い海などを見たいとは思わない。海^Eの向こうを見るのが好きだったから、かえって見たくないのだ。

山の好きな友人が同じことを言っていた。あちこち² B[※]に伐採され、傷だらけになってしまっている山を見ると、気持ちの底が悲しくなる。だから、できるだけ見ないようにしている——と。川の近くで少年時代を過ごした別の友人は、まだ川がきれいで健康だったころ、毎朝川を見に行っては、C[※]安心していた、という。しかし、今や三面張りのどぶのようになってしまった川は、むなしくて痛々しくて、とても見に行く気になれない……。見ると不安になり、そして次第に腹が立ってくるから、健康によくないのだという。

大人が遠くを見なくなると、子供も見なくなる。帰国後、モンゴルで撮ってきた映画の編集をするために、連日多摩川^たべりの撮影所に通っていた。暑い夏だったが、いつものスモッグに汚れた^よばんやりした空ではなく、そのぶんD[※]青く晴れ、毎日毎日雲がたくさんわき上がってきて、うれしかった。

夏の終わりの夕方、撮影所前のバス停でバスを待っていると、目の前にとてつもなく巨大な、一生のうちに何度見ることができるとかわからないような、すばらしい入道雲が出ていた。バスを待つ人々が何人もいたが、だれもそんな雲を見ていなかった。

せめて子供連れの母親たちに気づいてもらいたかった。彼女たちは何かうるさく世間話をしていた。大人が気がつかなければ、子供だって空を見ない。子供らは子供らでおしゃべりしていた。

G[※]遠く、でっかい世界を、気持ちの宝物を、日本人はだれも見なくなってしまったのだろうか。

(椎名誠『遠くを見なくなった日本人』より)

※ 該当しその条件にあてはまること。

※ かくもしこんなにも。

※ ついぞし今までに一度も。

※ スケールし大きさ。

※ 消波ブロックし海岸や川岸に置かれ、波の勢いを弱める働きをする、コンクリートなどで作ったブロック。

-3-

※ 希薄し少なく、薄いこと。

※ 伐採し樹木を切り出すこと。

※ 三面張りし両側面と底の三方を、コンクリートなどで、打ち固めること。

問一 線A「もっとも」ウ「痛々しい」の意味を次の1～3より選び、番号で答えなさい。また、線イ「視野」の意味を書きなさい。

A もっとも

1 ただし・それで 2 一番・とても 3 絶対・かならず
ウ 痛々しい

1 がまんできないほど苦しい。

2 気の毒で見えられないようす。

3 健康を害したため、身体のアちこちが痛い。

問二 文中の空らんA～Dに入るのに適切なものをあとの語群から選び、記号で答えなさい。

〔語群〕

A きっちり イ うつすら ウ ずたずた エ だろどろ

オ ふと カ きつと キ やつと ク ほつと

問三 線A「見渡すかぎり」を使って短文を作りなさい。(主語と述語をかならず入れること。)

問四 線B「毎日、地平線ばかり眺めていた」について答えなさい。

1 どこで眺めていたのですか。

2 どうして、そこにいたのですか。

問五 線C「大地よりも天のほうが主役の世界」とありますが、どのようなことを言っているのですか。次の1～4の中から、適切なものを選び、番号で答えなさい。

1 大地も天も見えるところにないこと。

-4-

- 2 大地が広く、天は少ししか見えないこと。
- 3 天も地も同じぐらいの割合をしめていること。
- 4 天の方が大地よりも広い面積をしめていること。

問六 〓 1「そのこと」2「そのころ」の指す内容をそれぞれ答えなさい。

- 1 そのこと 〓
- 2 そのころ 〓

問七 — D「大志」とありますが、それはどのような思いで言っているのですか。次の1～4の中から、適切なものを選び、番号で答えなさい。

- 1 アメリカに行きさえすれば、成功すると思う。
- 2 太平洋を越えて、広い水平線を眺めたいと思う。
- 3 モンゴルの草原で、遊牧民として生きたいと思う。
- 4 世界の広さを体感し、大きな人間になりたいと思う。

問八 — E「海の方こうを見るのが好きだったから、かえって見たくないのだ。」とありますが、なぜそのように思うのですか。説明しなさい。

問九 — F「うれしかった」とありますが、なぜそう感じたのですか。次の1～4の中から、適切なものを選び、番号で答えなさい。

- 1 澄んだ青空に、雲がわきあがってきたから。
- 2 モンゴルの空にくらべて、美しい空だったから。
- 3 虹のむこうにすばらしい入道雲が出ていたから。
- 4 スモッグに汚れた空に、太陽の光がさしてきたから。

問十 — G「遠く、でっかい世界を、気持ちの宝物を、日本人はだれも見なくなってしまうのだろうか」とありますが、作者はどのようなことを言いたいのですか。まとめて答えなさい。

問十一 — 線1・2に対する主語は何ですか。文中からぬき出さない。

1 眺めていた 2 言っていた

解答用紙（国語）

A日程 2月1日午前実施

受験番号
氏名
得点
/100

一			
問三	問二	問一	
①	①	⑥ セイミツ	① カテイ
②	②		
③	③		② シュウカン
④	④	⑦ サイシン	
⑤	⑤		③ ハウフ
		⑧ コウエン	
		⑨ シンロ	④ キシヨウ
		⑩ イガイ	⑤ コウセイ

二												
問十一	問十	問九	問八	問七	問六		問五	問四	問三	問二	問一	
1					2	1		1		A	ア	
											B	イ
											C	視野Ⅱ
											D	
										2		
2											ウ	